

中野の森プロジェクト(森林整備支援事業)

森林資源を保有するなかの里・まち連携自治体と協定を締結し、現地の森林整備活動で得られるCO₂の吸収量によって、カーボン・オフセットを着実にすすめる「中野の森プロジェクト」に取り組んでいます。



群馬県みなかみ町では、牧場跡地に設けた「中野の森」(約15ha)で、2014年から年間6千本、5年間で約3万本の植林を行いました。2019年度のCO₂吸収量は54.5トンで、群馬県から実績認証を受けています。「中野の森」の木が健全に育つことで、CO₂吸収量も年々増加していきます。

◎「環境交流ツアー」は、みなかみ町と喜多方市を隔年で実施しています。



福島県喜多方市では、市内の森林によるCO₂吸収量を「J-クレジット」として購入し、区内で発生するCO₂排出量をオフセット(埋め合せ)することとあわせ、市内の森林整備(間伐)を支援しています。2020年度は60トン分の「J-クレジット」を購入しました。

◎「環境交流ツアー」は、みなかみ町と喜多方市を隔年で実施しています。

「中野の森プロジェクト」では、皆さまから寄付を募り、喜多方市とみなかみ町の森林整備支援等の一部に活用させていただいております。

カーボン・オフセットとは
J-クレジットとは

区内での日常生活や事業活動において、削減努力をしても減らせないCO₂排出量を、区外での森林整備(間伐)などによるCO₂吸収量で埋め合わせることです。
金銭的な価値を持つ取引可能なCO₂吸収量のことです。

中野区の様々な取組

ごみ減量推進事業

ごみ減量やリサイクルを推進するために、「ごみ減量出前講座」や「親子向け料理教室」など様々な啓発を実施しています。上記のほか、「廃食用油」や「フードドライブ対象食品」の回収拠点持ち込みなども、「なかのエコポイント」を付与し、促進しています。



ごみ減量キャラクター
ごみのん

緑化推進事業

みどり豊かなまちをつくるために、緑化計画制度や生け垣等の設置助成、「中野区花と緑の祭典」や「みどりの教室」など、みどりの推進、啓発と普及に努めています。



生垣助成
緑化計画

自転車対策事業

中野区シェアサイクルがスタートしました! ドコモ・バイクシェアが展開する東京都内11区(千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、江東区、品川区、目黒区、大田区、渋谷区、中野区)のどのサイクルポートにおいても自転車の貸出・返却ができます。中野区内には15のサイクルポートが設置済み! エコなお出かけにご活用下さい!



中野区の事業者としての取組

中野区は、区内事業者として、「環境マネジメントシステム《EMS》」を定め、すべての事務事業について環境負荷の低減に努めています。



行動指針

- ③省エネを徹底し、エネルギー消費量を削減します。
- ①不要な印刷を控え、電子文書の活用を推進します。 ④環境に配慮した物品を調達します。
- ②ごみの発生を抑制し、リサイクルを推進します。 ⑤事業活動の全ての面にわたって、環境負荷の低減に努めます。

*イラストは全てイメージです

地球温暖化防止啓発パンフレット「えこライフのすすめ」

令和2年12月発行

編集・発行 中野区環境部環境課

TEL 03(3228)5516



地球温暖化防止啓発パンフレット「えこライフのすすめ」は、みどり東京・温暖化防止プロジェクト助成金を活用し作成・発行いたしました。

“eco life” no su su me

えこライフ の すすめ

～人と地球にやさしいエコなまちなかのを目指して～

ムリヤガマンをしない、誰でもできる、おトクな省エネをご紹介します!

地球温暖化って?
2ページ

再エネって?
3ページ

私たちに 何かできるの?
4・5ページ

エネルギーを
スマートに(賢く)使い、
みんなが健康で快適に
暮らし続けられる、
エコなまちなかのを
一緒に
目指しませんか?



地球温暖化防止啓発パンフレット「えこライフのすすめ」の作成・廃棄において発生するCO₂排出量は、喜多方市から購入した「J-クレジット」によりオフセットしています。

「えこライフのすすめ」は、中野区公式HPからもご覧いただけます



地球温暖化とは？

地球の平均気温が上昇することを、「地球温暖化」といいます。地球が暖かくなりすぎると、私たち人間の暮らしや、農作物や水産品、動植物の成育に悪い影響を及ぼします。



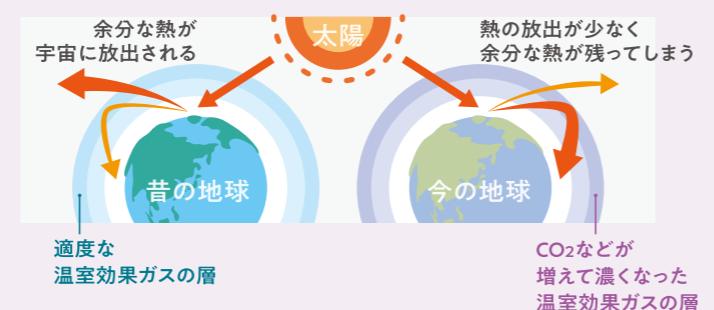
「えこライフのすすめ」は、地球温暖化に関して、私たちの生活に関わりの深い内容を紹介しております。紙面で表しきれない、地球温暖化の原因・影響・取組などは、区や関係省庁等のHPをご案内させていただきました。

地球温暖化の原因は？

温室効果ガスが

増えすぎたことが主な原因です。

しかし「温室効果ガス」には良い面もあり、地球を温室のように包み、地球の表面から熱を吸収することで、地球の平均気温を生物にとって快適な約15°Cに保っています。温室効果ガスが全てなくなると、平均気温は約-18°Cに下がってしまいます。



CO₂
(二酸化炭素)

「温室効果ガス」には、地球温暖化の原因の一つといわれる「CO₂(二酸化炭素)」が多く含まれています。「CO₂」は、人間の活動の中で、化石燃料(石炭・石油・天然ガスなど)を燃やすことで発生しています。

「温室効果ガス」が増えすぎたことで、地表の熱を宇宙へ放出することを妨げ、地球の気温を上昇させて自然界のバランスを崩しています。地球温暖化の主な原因は、人間の活動に起因していることがほぼ断定されています。

このまま温室効果ガスの排出量を減らす取組を行わないと、2100年には最大で4.8°C気温が上昇すると予測されています。
(IPCC第5次評価報告書・2014年)

4.8°C
2100年

地球温暖化の影響は？



農水産物・生態系への影響

お米や農産物の生育不良や、品質の低下をもたらしています。マラリアやデング熱等の、熱帯性の伝染病をもたらす蚊の生息域が拡大しています。



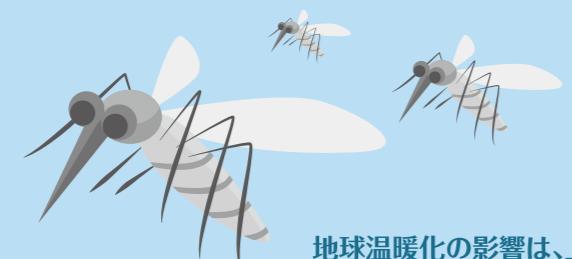
自然災害の増加

豪雨の頻発や台風の巨大化による、洪水被害・土砂災害が増加しています。将来的には、夏季の降水量や豪雨の増加や、洪水リスクがさらに高まる予測されています。



海面水位・水温の上昇

南極の氷や高い山にある氷河などが減少し、海面の上昇による低い土地への影響が心配されています。



地球温暖化の影響は、上記以外にも様々な領域に及んでいます。

地球温暖化の影響を減らす・防ぐ

私たちは、地球温暖化に伴う異常気象(気候変動)の影響や危害を「減らす・防ぐ」ために、地球温暖化の主な原因となっている「地球温暖化の原因を減らす取組『緩和』」とあわせ、高温・豪雨などの「危害から命や財産を守る取組『適応』」が求められています。

地球温暖化の影響 《気候変動》

猛暑・酷暑

頻発する豪雨・
巨大化する台風・洪水

危険

緩和

温室効果ガスの排出を抑制する

地球温暖化の原因を減らす取組

○省エネルギー

電力・ガス・水のムダを減らす／打ち水、緑のカーテン
食品ロスやゴミを減らす／徒歩や自転車、公共交通機関の積極利用
マイボトルやマイバッグの利用など

○再生可能エネルギー活用

太陽光や風力などの、再生可能エネルギー電力への切替など

適応

自然や人間社会のあり方を調整する

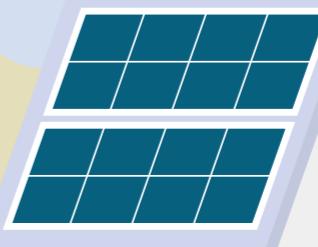
危害から命や財産を守る取組

○高温対応
高温時の外出を控える／水分や塩分を適切に取ること／エアコンやクールスポットの活用など

○自然災害

災害情報の収集、早期避難／ハザードマップの確認／防災訓練への参加など

再生可能エネルギーについて



太陽光発電

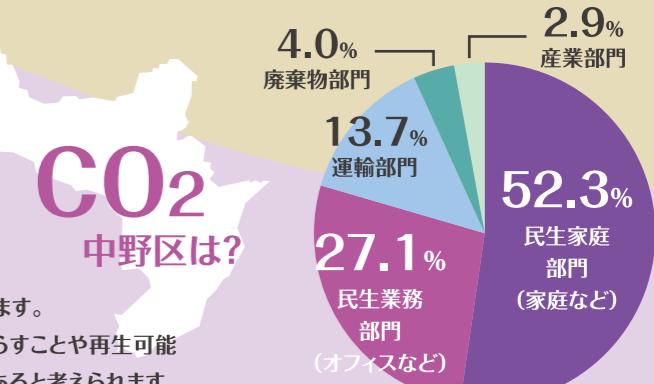
日光がよく当たる場所にソーラーパネルを置き、太陽光の力で発電します。

風力発電

風が風車を回す力で発電します。海の上で行う洋上風力発電もあります。

※再生可能エネルギーの一例

中野区の部門別CO₂排出割合



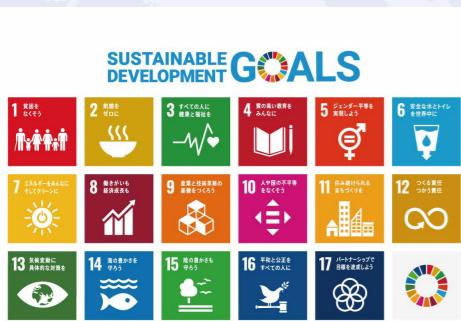
CO₂
中野区は？

区内のCO₂排出量のうち、約80%は家庭やオフィスなどから排出されています。住宅地の多い中野区では、家庭やオフィスなどのエネルギー消費量を減らすことや再生可能エネルギーへの切り替えなどで、CO₂排出量を減らす取組が重要かつ有効であると考えられます。

出展：特別区協議会「2017年特別区の温室効果ガス排出量」より中野区作成

世界の取組

持続可能な開発目標 SDGs とは



2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの 国際目標 です。

17のゴール・169のターゲットで構成され、
地球上の誰一人として取り残さない ことを定めています。

SDGsは、格差の問題、持続可能な消費や生産、気候変動対策など、すべての国に適用される普遍的(ユニバーサル)な目標です。

日本では総理大臣を本部長とした「SDGs推進本部」を設置し、国内実施及び国際協力で取組をすすめます。



国際目標

SDGs×外務省「SDGs」

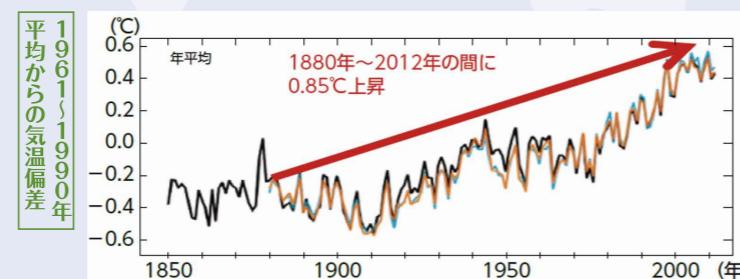
パリ協定 (2016年11月4日発効)

地球温暖化の原因となる「温室効果ガス」の排出量の削減にむけて、先進国、途上国の区別なく、目標達成に取り組むことを定めているもので、世界の気候変動対策の新たな出発点といえます。



「パリ協定」

●世界平均地上気温の変化



資料:気候変動に関する政府間パネル(IPCC)「第5次評価報告書統合報告書決定者要約」

世界の共通目標

世界全体の平均気温上昇を 2℃ より十分に下回る
そのため、温室効果ガスの排出を実質 0 ゼロに。

世界全体の平均気温上昇を19世紀後半の産業革命前から2℃より十分に下回るようにすること、そのために、今世紀後半には人間活動による温室効果ガスの排出を吸収と等しくし、実質ゼロにすることを目指しています。

石炭や石油などの「化石燃料ができるだけ燃やさない社会」へ変えなければならない」ということを意味しています。



日本の取組

国内の地球温暖化の課題に取り組むと共に、世界の一員として、あらゆるパートナーと共に、地球規模の環境問題に貢献しています。

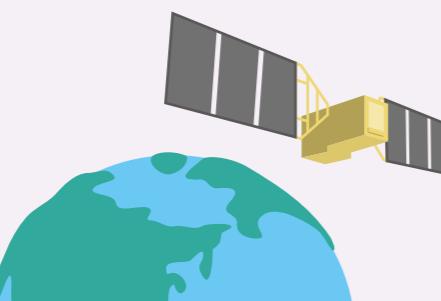


二国間クレジット制度 (JCM)

途上国(ホスト国)への優れた低炭素技術等の普及を通じ、地球規模での温暖化対策に貢献するとともに、ホスト国で得られた温室効果ガス吸収量を、日本の温室効果ガス削減目標の達成に活用するクレジットの獲得を目指しています。

宇宙から 温室効果ガスを観測

JAXAと環境省、国立環境研究所の共同プロジェクトで、温室効果ガス観測技術衛星「いぶき2号」(2018年10月打ち上げ)が、主要な温室効果ガスであるCO₂とメタン濃度などの観測を行っています。観測データは、地球規模の温暖化対策に役立てられています。



「地域循環共生圏」 の創造

各地域が自立・分散型の社会を形成し、地域資源等を補完し支え合う「地域循環共生圏」の創造を目指します。中野区では、「なかの里・まち連携」として、地方(里)と都市(まち)の連携をすすめています。

これ以外にも様々な取組を行っています。

中野区の取組

温暖化防止推進事業

地球温暖化防止に向けた啓発事業

地球環境にやさしい生活を提案する事業として、「なかのエコフェア」や「子どもエコ講座」、「環境パネル展」などを実施しています。

なかのエコフェア

区民団体や事業者、大学や行政機関、地方自治体などがさまざまな地球温暖化防止の取組の展示や、森林学習・木工体験などを通じて、ムリやムダのないエコライフについて、幅広い世代が楽しく学べる機会を提供しています。



ダンボール・コンポストなど、区民団体の展示は、生活に役立つエコなアイデアが盛りだくさん。

パレットの立体迷路や木製遊具、森林学習のコーナーは、ご家族連れに大人気でした。

なかのエコポイント (環境行動コース)

「なかのエコポイント」では、皆さんのエコアクションを応援しています!

「なかのエコポイント」は、環境イベントへの参加や資源リサイクルなど、環境に配慮した行動に対してポイントを付与します。

(1ポイント=1円、500ポイントごとに区内共通商品券等に交換できます!)



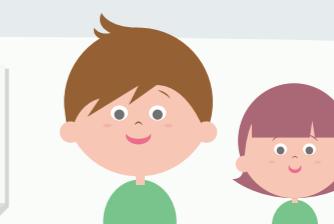
「なかのエコポイント申請書」は、環境課窓口や区民活動センターでお配りしています。

子どもエコ講座

未来を担う子どもたちが、実験や体験、座学などを通じて地球温暖化を学ぶ機会を提供しています。毎回、定員を大きく上回るお申込みをいただいています。



「子どもエコ講座」やその他の
啓発事業はこちらをご覧ください。



H31年度は、5,843名が
参加し、19,258kgの
CO₂量を削減しました。



なかのエコチャレンジ

毎年、小中学校の児童・生徒の皆さん
が取り組んでいます。子どもたちが省エネ
に取り組むことで、家族ぐるみの「えこライ
フ」が定着することを目指しています。
小学校1～3年生用
小学校4～6年生用
中学生用を用意しています。